

佐久市立天来記念館協議会次第

日 時 令和5年6月1日(木)

午後1時30分～

場 所 駒の里ふれあいセンター 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 令和4年度事業報告について

(2) 令和5年度実施予定事業について

(3) 令和6年度事業実施計画について(意見・提案)

(4) その他

4 閉 会

令和4年度 佐久市立天来記念館 事業報告

1 管理運営の状況

- (1) 開館時間 午前9時～午後5時
- (2) 開館日数 256日
- (3) 休館日 毎週月・火曜日（国民の休日に当たる場合は除く）
国民の休日の翌日（日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く）
年末年始 12月29日～1月3日
臨時休館 10月26日（門流室・映像室の天窓修理のため）
- (4) 入館の状況（令和5年3月末現在）
入館者数 748名（前年同期 500名 49.6%増）

2 主な事業

(1) 常設展示

- 常設展示室 比田井天来・小琴の代表的な作品をはじめ、書稿・手本などの常設展示
- 企画展示室 比田井天来・小琴の門流書家の作品を展示
- 映像室 映像による天来の人物像や書作活動などを紹介

(2) 天来記念館書道入門講座

比田井天来の正統な流れを汲む一流の講師の指導により、書道をこれから始めてみたい方など高校生以上の初心者を対象とした書道入門講座

- 講師 桑原呂翁先生・山本泰鼎先生
- 期間 4月～3月（11回開催）
- 場所 駒の里ふれあいセンターほか
- 受講者数 16名

*新型コロナウイルス感染急拡大のため、8月は開催中止

(3) 第十一回比田井天来・小琴顕彰佐久全国臨書展

比田井天来が提唱した古典臨書の意味を引き継ぎ「書のまちづくり」を推進し交流人口の創出を図るための全国規模の臨書公募展

- 期間 令和4年11月19日（土）～12月11日（日）
- 会場 佐久市立近代美術館
- 出品数 3,216点
- 展示数 2,852点
- 入館者数 1,151名

受賞式・揮毫会実施 11月19日（土）

ワークショップ実施 12月4日（日）

「雁塔聖教序（褚遂良）を臨書する」講師：高橋蒼石先生

会場 市民創錬センター（大会議室）

参加者 21名

※新型コロナウイルス感染拡大防止ためギャラリートーク等は実施せず

【出品数及び受賞作品数一覧表】

第十一回 比田井天来・小琴 佐久全国臨書展 賞別・部門別作品数一覧													
部門	賞	特 別 賞					特選	秀作	佳作	入選	課題違い 規格外	出品数計	
		天来賞	小琴賞	市長賞	教育長	書道連							近代美
一般部	漢 字	3		3	3	3	3	27	113	157	201	4	517
	(審査員賞)	1		1	1			4	1				8
	か な		1	1	1	2	2	5	30	37	43	1	123
	(審査員賞)							1					1
	高校生	3	1	3	4	4	4	13	54	75	108	3	272
	(審査員賞)			2			2	3	1	1			9
	高校生部	団体賞 4校											
部門	賞	特 別 賞					特選	金賞	銀賞	銅賞	入選	課題違い	出品数計
		天来賞	市長賞	教育長	書道連	近代美							
	中学生	3	5	8	8	10	35	101	134	168	200	1	673
	小学生	6	9	10	12	14	81	246	325	439	486	3	1,628
												総出品数	3,216

【参考】過去の総出品数 第8回 3,412点 第9回 3,231点 第十回 3,357点

(4) 第十三回 天来記念館書き初め展

「現代書道の父 比田井天来」生誕の地として、佐久市内小・中学生に周知を図ることを目的に開催

期 間 令和5年2月4日(土)～2月12日(日)
 会 場 天来記念館及び駒の里ふれあいセンター
 参加校 18校(小学校 12校・中学校 6校)
 出品数 211点(小学生 147点・中学生 64点)
 展 示 特選と天来記念館賞は天来記念館に展示
 金・銀・銅賞は駒の里ふれあいセンターホールに展示
 表彰式 2月12日(日) 駒の里ふれあいセンター(2階会議室)
 入館者数 延べ 240名

(5) 第十回地元高校書道部作品発表会

地元高校書道部の生徒の活躍を地域の方々に知っていただくことを目的に開催

期 間 令和5年2月25日(土)～3月5日(日)
 会 場 天来記念館1階
 参加校 5校(岩村田高校、野沢北高校、小諸高校、佐久長聖高校
 佐久平総合技術高校浅間キャンパス・臼田キャンパス)
 出品数 27点
 入館者数 58名

*会期中3月5・6日は「佐久の日」協賛事業として実施

(6) タイムカプセル 2022 年 「忘れられないことば色紙展」

12 年前 (2011 年) に色紙に書かれた作品「忘れられないことば」を募集し、令和 2 年に展示する予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、令和 2 年・3 年と開催を延期した

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策をとって開催

期 間	令和 4 年 8 月 18 日 (木) ~ 8 月 24 日 (水)
会 場	駒の里ふれあいセンター (2 階会議室)
展示作品	276 点
来館者数	95 名

(7) 「臨書にチャレンジ」コーナーの開設

比田井天来先生が推奨した古典を知り、「臨書」を体験することにより、書道をより身近なものとして生活の中に普及することを目的に開設

開 設 日	月末の土・日に開設
	6/25・26 7/30・31 3/25・26

場 所	天来記念館 1 階 (映像室)
参加人数	26 名

(8) その他

文化振興課

R2～R4年 天来記念館利用状況

(単位：人、円、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
入館者数	R2年度	0	0	20	64	33	176	41	45	43	18	44	144	335	511
	R3年度	60	31	20	40	42	236	66	59	23	19	17	80	264	500
	比較R3-R2	60	31	0	△ 24	9	60	25	14	△ 20	1	△ 27	△ 64	△ 71	△ 11
	伸率	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0	△ 37.5	27.3	34.1	61.0	31.1	△ 46.5	5.6	△ 61.4	△ 44.4	△ 21.2	△ 2.2
	R4年度	58	59	37	64	113	370	87	87	19	19	75	91	378	748
	比較R4-R3	△ 2	28	17	24	71	134	21	28	△ 4	0	58	11	114	248
	伸率	△ 3.3	90.3	85.0	60.0	169.0	56.8	31.8	47.5	△ 17.4	0.0	341.2	13.8	43.2	49.6
	R2年度	0	0	3,410	10,660	6,370	35,300	13,120	10,280	8,970	6,010	4,500	3,730	46,610	81,910
	R3年度	10,160	3,820	5,700	7,600	10,870	42,910	13,170	12,210	4,090	4,040	2,460	6,430	42,400	85,310
	比較R3-R2	10,160	3,820	2,290	△ 3,060	4,500	7,610	50	1,930	△ 4,880	△ 1,970	△ 2,040	2,700	△ 4,210	3,400
伸率	#DIV/0!	#DIV/0!	67.2	△ 28.7	70.6	21.6	0.4	18.8	△ 54.4	△ 32.8	△ 45.3	72.4	△ 9.0	4.2	
R4年度	5,800	2,480	7,970	8,230	20,250	55,020	14,890	21,700	4,330	5,180	7,470	13,030	66,600	121,620	
比較R4-R3	△ 4,360	△ 1,340	2,270	630	9,380	12,110	1,720	9,490	240	1,140	5,010	6,600	24,200	36,310	
伸率	△ 42.9	△ 35.1	39.8	8.3	86.3	28.2	13.1	77.7	5.9	28.2	203.7	102.6	57.1	42.6	
観覧料															

写真でたどる

令和4年度 天来記念館のあゆみ

●令和4年度書道入門講座(駒の里ふれあいセンター)

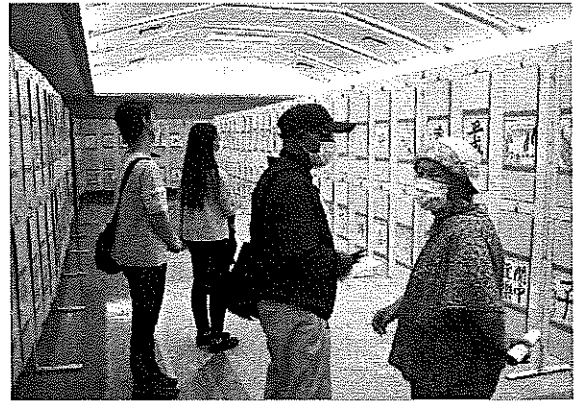
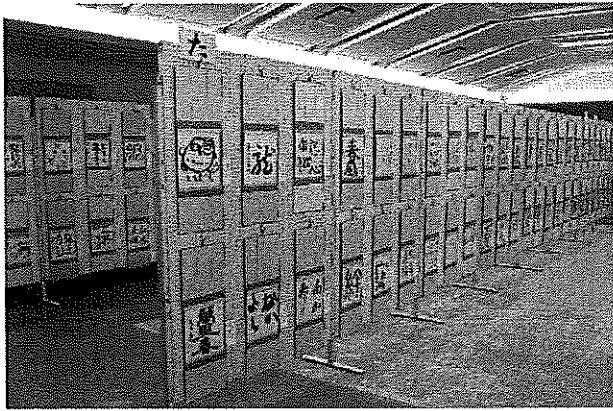
〈 講師 山本 秦鼎 先生 〉



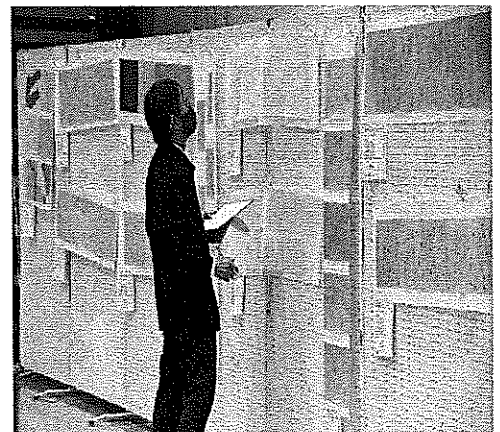
〈 講師 桑原 呂翁 先生 〉



●忘れられないことば色紙展(駒の里ふれあいセンター)



●第十一回 比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展 審査会(交流文化館 浅科)



●第十三回 天来記念館書き初め展(駒の里ふれあいセンター・天来記念館)

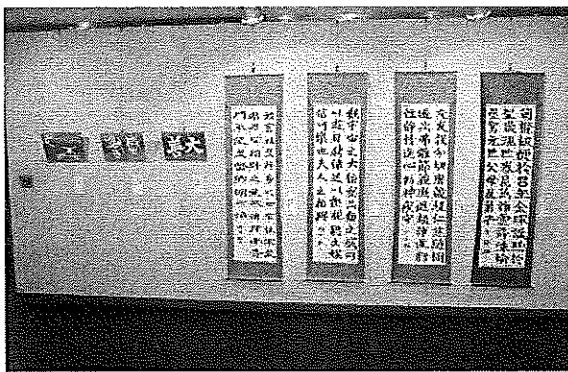
〈天来記念館賞受賞作品〉



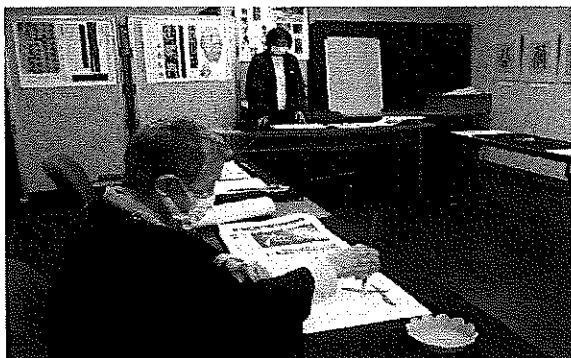
〈天来記念館賞・特選受賞者〉



●第十回 地元高校書道部作品展(天来記念館)



●臨書にチャレンジ(天来記念館)



令和5年度 佐久市立天来記念館 事業計画（案）

1 常設展示 『比田井天来・小琴の世界』

- (1) 期 日 通年
- (2) 場 所 佐久市立天来記念館（常設展示室・企画展示室・映像室）
- (3) 内 容 比田井天来・小琴の書道業績を、代表的な作品や書稿・書道用具等を展示し、「人・書・活動」を伝える。
DVD（「比田井天来の生涯」・「比田井天来を習う」）により天来を紹介する。
- (4) 門流書家の作品展示 常時約30点の作品を展示する。
- (5) 書籍販売 来館者に天来記念館収蔵品図録、比田井天来作品集や臨書展図録などを販売する。

2 主な事業

(1) 天来記念館書道入門講座

比田井天来の正当な流れを汲む一流の講師の指導により、書道をこれから始めてみたい方など高校生以上の初心者を対象とした講座を実施。

- *期 間 4月～3月（年12回）毎月第2土曜日
 - *会 場 駒の里ふれあいセンター（2階会議室）
- 詳細計画は別紙のとおり

(2) 第十二回 比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展

比田井天来が提唱した古典臨書の意味を引き継ぎ「書のまちづくり」を推進し交流人口の創出を図るための全国規模の臨書公募展。

- *期 間 令和5年11月18日（土）～12月10日（日）
- *場 所 佐久市立近代美術館
- *作品締切 令和5年9月5日（火）

(3) 第十四回 天来記念館書き初め展

佐久市が「現代書道の父・比田井天来」生誕の地であることを、佐久市内小・中学生に周知され、書道文化の進展を目的に開催。

- *期 間 令和6年2月7日（水）～2月12日（月）
- *場 所 天来記念館及び駒の里ふれあいセンター

(4) 第十一回 地元高校書道部作品展

地元高校書道部の活躍を地域の方々に知っていただくために開催。

- *期 間 令和6年3月1日（金）～3月10日（日）
 - *場 所 天来記念館1階
 - *対象校 書道部のある佐久地域の高等学校
岩村田高校、野沢北高校、野沢南高校、佐久平総合技術高校、
小諸高校、佐久長聖高校ほか（予定）
- *「佐久の日」関連イベントとしても実施予定

第1回（平成25年度）	15点	望月高校
第2回（平成26年度）	22点	望月高校、野沢南高校

第3回（平成27年度）	28点	望月高校、野沢南高校、小諸高校
第4回（平成28年度）	40点	望月高校、野沢北高校、野沢南高校 蓼科高校、小諸高校 佐久平総合技術高校
第5回（平成29年度）	56点	望月高校、野沢北高校、野沢南高校 小諸高校、岩村田高校、蓼科高校 佐久平総合技術高校
第6回（平成30年度）	37点	望月高校、野沢北高校、野沢南高校 小諸高校、岩村田高校、佐久平総合技術 高校
第7回（令和元年度）	21点	望月高校、野沢北高校、小諸高校、 岩村田高校、蓼科高校、 佐久平総合技術高校
第8回（令和2年度）	34点	野沢北高校、野沢南高校、小諸高校、岩 村田高校、蓼科高校、佐久平総合技術高 校（浅間・臼田キャンパス）、佐久長聖 高校
第9回（令和3年度）	24点	野沢北高校、野沢南高校、岩村田高校、 小諸高校、蓼科高校、佐久平総合技術高 校（浅間・臼田キャンパス）、佐久長聖 高校
第10回（令和4年度）	27点	野沢北高校、岩村田高校、小諸高校、 佐久平総合技術高校（浅間・臼田キャン パス）、佐久長聖高校

(5) 「臨書にチャレンジ」コーナー開設

比田井天来先生が推奨した古典を知り「臨書」を体験することにより、書道がより身近なものとして生活の中に普及することを目的に開設。

*場 所 天来記念館1階（映像室）

*月末の土・日に開設 4/29・30 5/27・28 6/24・25 7/29・30
3/23・24

(6) 「夏の寺子屋 in 天来記念館」

小・中学生を対象として書道に関する自由研究・体験学習（「臨書」の体験）をサポートする。

*開催日 令和5年8月11日（金）・12日（土）・13日（日）

*時 間 午前の部 9時30分～12時00分
午後の部 13時00分～15時30分

*受講料 無料（2階 常設展は有料）

*望月歴史民俗資料館との連携事業

3 その他

令和5年度 書道入門講座日程表（予定）

期日	場所	テーマ	講師	内容
4/8 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	書道をはじめよう	山本秦鼎	用具の扱い方、筆の持ち方から始めて、書を書くための基礎を学びます。初心者でも安心して楽しく始められます。
5/13 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	楷書で書く①	山本秦鼎	楷書の基本点画をマスターしましょう。半紙に二字、筆の角度や筆毛のはたらきについてわかり易く解説します。
6/10 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	楷書で書く②	桑原呂翁	楷書の基本点画を確認しましょう。動きのコツを習得するためには、繰り返し練習することが大切です。
7/8 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	行書で書く①	桑原呂翁	行書は個性を表現しやすく、暮らしの中で最も役に立つ書体です。行書独特の筆遣いのポイントを伝授します。
8/5 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	行書で書く②	山本秦鼎	行書の基本的な技法を学ぶと、筆の動きがスムーズになります。リズムに乗った筆の動かし方について説明します。
9/9 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	ひらがなを書く	山本秦鼎	書を書くためには「漢字」も「かな」も大切です。字源をたどりながら現代文を書くためのかなを学びます。
10/14 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	楷書・行書で書く	桑原呂翁	楷書や行書にはいろいろな書きぶりがあります。多彩な表現技法を知り、ここまでの学習成果を確認しましょう。
11/11 (土)	天来記念館	書の作品鑑賞	桑原呂翁 山本秦鼎	他人の作品を見ることは、書を学ぶ上でとても大切なことです。書の上達には欠かせない、鑑賞のコツをお教えします。
12/9 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	筆で書く年賀状	山本秦鼎	手書きの年賀状には温もりがあります。来年の年賀状は活字ではなく、自分の文字で心を伝えてみませんか。
1/13 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	漢字仮名交じりの書	山本秦鼎	古典的な漢詩や和歌などではなく、自分の好きなことばを現代文で書くための基礎を学習します。
2/10 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	草書に挑戦	桑原呂翁	難しいそうで、最初から敬遠してしまう草書。くずし方のルールがわかれば意外と簡単です。初心者のための草書入門。
3/9 (土)	駒の里ふれ あいセンタ ー	贈る書	桑原呂翁	色紙は贈り物に最適です。ここで一年間の学習の成果を発揮してみましょう。将来へのステップでもあります。

令和6年度 佐久市立天来記念館 事業計画（意見・提案）

1 常設展示 『比田井天来・小琴の世界』

- ・常設展示室・企画展示室（門流書家の作品展示）・映像室（DVD「比田井天来の生涯」・「比田井天来を習う」）
- ・書籍販売

2 主な事業

(1) 天来記念館書道入門講座

比田井天来の正当な流れを汲む一流の講師の指導による高校生以上の初心者を対象とした講座。

*期 間 4月～3月（年12回）毎月第2土曜日

*会 場 駒の里ふれあいセンター（2階会議室）

(2) 第十三回 比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展

比田井天来が提唱した古典臨書の意味を引き継ぎ「書のまちづくり」を推進し交流人口の創出を図るための全国規模の臨書公募展

*期 間 令和6年11月中・下旬～12月初・中旬

*場 所 佐久市立近代美術館

*作品締切 令和6年9月初旬

(3) 第十五回 天来記念館書き初め展

佐久市が「現代書道の父・比田井天来」生誕の地であることを、佐久市内小・中学生に周知され、書道文化の進展を目的とする書道展

*期 間 令和7年2月初旬～1週間程度

*場 所 天来記念館及び駒の里ふれあいセンター

(4) 第十二回 地元高校書道部作品展

地元高校書道部の活躍を地域の方々に知っていただくための作品展

*期 間 令和7年2月下旬～1週間程度

*場 所 天来記念館1階

*対象校 書道部のある佐久地域の高等学校

*「佐久の日」関連イベントとしても実施予定

(5) 「臨書にチャレンジ」コーナー開設

比田井天来先生が推奨した古典を知り「臨書」を体験することにより、書道がより身近に生活の中に普及することを目的に開設

*場 所 天来記念館1階（映像室）

*日 時 月末の土・日に開設

*対 象 年齢問わず

(6) 「夏の寺子屋 in 天来記念館」

書道人口の裾野を広げるため、夏休み中の小・中学生を対象として書道に関係する自由研究・「臨書」体験をサポート

- *開催日 令和6年夏休み中の2・3日
- *時間 午前の部 9時00分～12時00分
午後の部 13時00分～15時00分
- *受講料 無料(2階常設展は有料)
- *望月歴史民俗資料館との連携事業

3 その他

他の文化施設との連携事業の可能性を考える。

【 意見・提言 】

「書道」が生活の中でより身近にあった天来先生の時代から見ると、「現代の書道」はハードルの高い、特別なものと感じている人が多いのは事実です。

天来先生は「書道を芸術に高めたい」と願い、その弟子たちが現代の書道を築いてきました。天来先生の故郷・佐久の地で、書道が生活に根ざした文化となるように次の三点を多くの方に知っていただきたいと取り組んでいます。

〈 天来記念館で、「本物」に会える 〉

〈 天来記念館で、「書道」を学べる 〉

〈 天来記念館には、「発見」と「感動」がある 〉

2019年の新型コロナウイルス感染症の拡大、また感染防止対策の実施によって、来館者は激減しましたが、じっくり観覧される方が多く来られます。遠くから来館された方からは「書道に関係する者にとって、ここは聖地ですから。」、近くから来られた方からは「いつか来ようと思っていましたが、ようやく来られました。」といった感想を聞かせていただきました。

「現代書道の父・比田井天来」の本物の作品がこんなに間近で見られる美術館は全国でも珍しいのですが、地元の方にとっては、あって当たり前、いつでも行ける所といった感覚になっていることは大変残念なことです。

事業に関しては、ほとんどが中止あるいは規模の縮小を余儀なくされましたが、漸く本来の形で実施できるようになってまいりました。関係される皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

「天来記念館書き初め展」は回を重ねるごとに地域の皆様の関心も高くなり、確実に地域に根ざした文化事業になってきていると感じております。

「書道入門講座」は新型コロナウイルス感染症の状況が変わる度に、講師の先生方に何度も計画を作り直していただきながら中止せざるを得ない状況でしたが、漸く実施できるようになりました。天来先生の流れをくむ一流講師の充実した講座を開講できることは、佐久の書道文化を大いに高めていると自負しております。

「佐久全国臨書展」で一流の先生方に携わっていただけけるのも、天来先生が故郷を大切にされていたのを皆様のご存じだからこそ実現しているのです。

良いものは更に良くし、改善すべき点は改めていきたいと考えております。

今後とも天来記念館の事業にご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。